

あやなり

Bunkyo Pride

文教大学学園は2027年に創立100周年を迎えます

これまでも、これからも。



特集 全国のお友に会いに行く
栃木

表紙制作:藤掛 裕美さん

文教大学国際学部国際学科卒業

読者の声

文は人なり

読者の皆さまの「文」でつくるページです。

私の好きな映画は「カーリーの道」です。アルバーティノの一番カッコ良かった時期の感動の映画です。
文教大学女子短期大学部卒業/Vivaceさん

先日見た映画です。「医師 中村哲の仕事、働くということ」アフガニスタンとパキスタンで病や戦乱、そして干ばつに苦しむ人々のために、35年にわたり活動を続けた人のドキュメンタリー。

文教大学卒業/高橋宏栄さん

「E.T.」。アメリカに留学した時に、初めて観た映画です。字幕無しでもなんとなく分かり、一緒だったホストファミリーと笑ったり泣いたりしました。『E.T. phone home』と、自分の星を懐かしむE.T.に、日本から離れて間もない、英語もたどたどしい自分とを重ね合わせ、余計に感情移入しました。

文教大学女子短期大学部卒業/サニーさん

チャップリンの「街の灯」。ラストが感動です。

文教大学院卒業生

「温泉シャーク」。日本で初めてのサメ映画です。クラウドファンディングで製作されました。荒唐無稽でありながら、日本のこだわりを感じられるストーリー展開がよかったです。

文教大学在学生

「グッド・ウィル・ハンティング」。英語の映画シナリオを訳し、映画を見る。そんな大学生活が印象に残っています。

文教大学卒業生

「二百三高地」ですね。

文教大学卒業/ああさん

「(500)日のサマー」とにく恋がしたくなります。中学生・高校生・大学生みんな観てください!

文教大学付属高等学校卒業生

「ミッション:インポッシブル」シリーズ。スリルやドキドキ感が凄まじいです。

群馬背番号30さん

「サイダーハウス・ルール」。古い映画で、派手はないけど、観た後ジーンと感動する映画です。内容は、主人公がさまざまな経験を通して成長していく物語。その中で、サイダーハウス(りんご農園)ができます。特に、孤児である主人公の親代わりの医師が、主人公に対する愛情が良い。さり気ないけど、深い愛情。優しい気持ちになる、良い映画です。

私の近況

現任校で進路指導主事として6年目になりました。生徒にとってベストな選択ができるように日々仕事に邁進しています。副校長が英文科卒業なので、職員室で越谷キャンパスの話で盛り上がっています。

文教大学卒業/飯村文人さん

素敵なお野球ファンタジーの「フィールド・オブ・ドリームス」と、イタリアの郷愁を感じる「ニューシネマバラディス」が大好きです。どちらも音楽がとても効果的で共感をうまく誘う映画で、いつ観ても世界観に入り込めます。

文教大学卒業/りきさん

お問い合わせください!
同窓会告知、お手伝いします!

同窓会の告知など、校友会HPやメールマガジン等で紹介したいことがあります。お気軽にお問い合わせください。お問い合わせは「あやなり-Bunkyo Pride-」ホームページのお問い合わせフォームよりお願いします。

お問い合わせは

編集後記

文教大学学園に関わる「人」や「場所」を紹介する『あやなり-Bunkyo Pride-』2025年度号を発行する運びとなりました。特集「全国の校友に会いに行く!」では、栃木県を訪問。実際に訪れたことでその「場所」の魅力はもちろん、その土地での卒業生の活躍を肌で感じることができました。創立100周年ロゴマークの制作である藤掛さんデザインの爽やかな表紙からはじまり、在校生・卒業生・恩師の魅力的なお話をふんだんに掲載した2025年度号を、Webサイトと合わせてお楽しみください!

(理事長室 校友会担当 A.S.)

※送付先住所は、各校友団体の協力を得て最新のデータで送付しておりますが、旧住所や宛名間違い等がございましたらご寛容ください。その場合はご連絡いただけますと幸いです。

あやなり-Bunkyo Pride-2025

発行日: 2025.7.23 発行: 文教大学学園 編集: 学園本部 理事長室 制作: 文化工房
〒142-0064 東京都品川区旗の台3-2-17 TEL: 03(3783)5511(代) FAX: 03(3783)6109 E-mail: alumni@stf.bunkyo.ac.jp

20

INDEX

- p.2 学園理事長の挨拶
- p.4 特集・全国の校友に会いに行く
- p.8 文教人INTERVIEW
- p.10 文教百花
- p.12 CROSS TALKS
- p.13 恩師便り
- p.14 学園NEWS
- p.16 CAMPUS REPORT
- p.18 校友会の輪
- p.20 文は人なり

あやなり

Bunkyo Pride

文教大学学園広報誌

文教大学学園の在校生や保護者、卒業生など、
「文教人」の皆さんにお送りする広報誌、『あやなり-Bunkyo Pride-』。
文教大学学園の各校の情報や、文教人へのインタビューなどをお届けします。
「あや（文=文教）は人なり」という思いを込めて、
そして Bunkyo Pride は、皆さんが文教人であることに
誇りを感じていただけるように。
そんなメッセージが伝わる冊子を目指しました。
この一冊が、人と人、人と学園をつなぐ場であればと願っています。

あやなり-Bunkyo Pride-をお届けします



文教大学学園 理事長
野島 正也

『あやなり-Bunkyo Pride-』は、2022年度にリニューアルをし、在校生、保護者、卒業生など様々な「文教人」の皆さんに学園の情報を伝えする広報誌となりました。今号の表紙は、「文教大学学園創立100周年記念ロゴマーク」募集で最優秀賞を受賞され、グラフィックデザイナーとして活躍する国際学部の卒業生の作品です。文教大学学園は来たる2027年度に学園創立100周年を迎えます。100周年の節目へ向けて、またその先の100年に向けて、建学の精神であります「人間愛」を大切にしながら、皆さんに誇りに思ってもらえるような学園づくりに取り組んでまいりたいと考えております。これからも園児・児童・生徒・学生の学習環境を整え、よりよい教育の場を築いてまいります。今後ともより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

誌面ではそれぞれに活躍する在校生、卒業生、恩師のご活躍を紹介しております。今年度からは特集として「全国の校友に会いに行く!」をテーマに、全国各地の校友に取材をしていく所存です。第一段となる今回は、栃木県にスポットをあて、佐野市で行政から栃木県を盛り上げるべく奮闘してい

る卒業生や足利市の社会福祉法人でワイナリーを営む卒業生の活躍を取材しました。その他、今年9月に上映される映画「宝島」の原作者で直木賞作家の真藤順一さん（文学部卒業生）と学長・恩師との鼎談など、盛りだくさんの学園情報をお送りいたします。文教大学学園は来たる2027年度に学園創立100周年を迎えます。100周年の節目へ向けて、またその先の100年に向けて、建学の精神であります「人間愛」を大切にしながら、皆さんに誇りに思ってもらえるような学園づくりに取り組んでまいりたいと考えております。これからも園児・児童・生徒・学生の学習環境を整え、よりよい教育の場を築いてまいります。今後ともより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

それでは『あやなり-Bunkyo Pride-』をお楽しみください。

文教大学学園 2025年5月1日現在

文教大学付属幼稚園

開設: 1927年
園児数: 148名
園長: 中山 敦子
所在地: 旗の台キャンパス
〒142-0064
東京都品川区旗の台3-2-17 Tel: 03-3781-2798



文教大学付属小学校

開設: 1951年
児童数: 325名
校長: 島野 歩
所在地: 石川台キャンパス
〒145-0065
東京都大田区東雪谷2-3-12 Tel: 03-3720-1097



文教大学付属中学校・高等学校

[中学校]
開設: 1947年
生徒数: 446名
校長: 神戸 航
[高等学校]
開設: 1948年
生徒数: 811名
校長: 能村 英達
所在地: 旗の台キャンパス
〒142-0064
東京都品川区旗の台3-2-17 Tel: 03-3783-5511 (代)



文教大学・大学院

開設: 1966年
教育学部: 1,663名
人間科学部: 1,891名
文学部: 1,544名
情報学部: 1,271名
健康栄養学部: 336名
国際学部: 1,231名
経営学部: 777名
大学院: 90名
外国人留学生別科: 17名
専攻科教育専攻科: 1名
<合計 8,821名>
学長: 宮武 利江
所在地:
[越谷キャンパス]
〒343-8511
埼玉県越谷市南荻島3337
Tel: 048-974-8811 (代)



[湘南キャンパス]
〒253-8550
神奈川県茅ヶ崎市行谷1100 Tel: 0467-53-2111 (代)
[東京あだちキャンパス]
〒121-8577
東京都足立区花畠5-6-1 Tel: 03-5686-8577 (代)

文教

HOT Topics

文教大学学園公式LINE

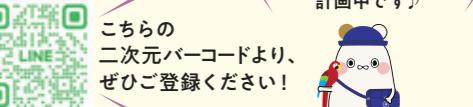
アカウントが完成しました!



学園情報をリアルタイムにお届けすべく、公式のLINEアカウントが完成しました。お友だち登録をしていただくと、旬な卒業生の活躍やイベント情報をgetすることができます。校友メールマガジン「あやなりBPかわら版」や住所変更などの各種お手続きも、LINEより変更可能です。ぜひお友だち登録をお願いします!

※「校友」とは、学園各校の在校（園）生・卒業（園）生 およびその保護者、現役・退職教職員の総称です。

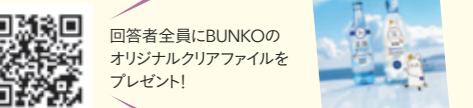
LINEスタンプのプレゼント
計画中です♪



『あやなり-Bunkyo Pride-』 アンケートにご協力ください!

今年度号のアンケートに回答していただいた方全員に『あやなりBP』2025年度号の表紙絵クリアファイルをプレゼントします!「文は人なり」コーナーの投稿もこちらからお願いします! 次回のテーマは「在校生に読んではいいおすすめの本」です。

※昨年度より紙のアンケートを廃止し、アンケートはすべてWebサイトに統一しました。



うれしいニュースを紹介します!!

須賀達郎さんの漫画

『ボールパークでつかまえて!』がアニメ化!!

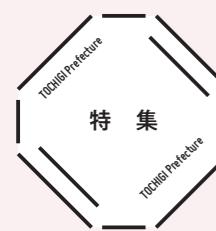
漫画家・須賀達郎さん（情報学部卒業生）の作品『ボールパークでつかまえて!』（講談社「モーニング!」にて連載中）が、今年4月末よりアニメ化され、テレ東系6局にて放送されました。オンライン配信など、詳しくは「ボールパークでつかまえて!公式サイト」をご覧ください!



アニメ公式
HPは
こちら



©須賀達郎・講談社/「ボールパークでつかまえて!」製作委員会



全国の校友に 会いに行く in 栃木

ASHIKAGA
SANO

日本各地にいる卒業生を訪ね、地域に根ざした暮らしぶりを聞きながら、地元の魅力やおすすめの場所、おいしいものを紹介してもらう新企画です。第一弾は栃木県。校友のおすすめを巡って、栃木を旅してみてはいかがですか？



右は妻の有子さん。大学の同級生で学生時代からの交際を経て結婚



いけがみ たかし
池上 峻さん

有限会社ココ・ファーム・ワイナリー代表
文教大学人間科学部人間科学科 2004年卒業

祖父から引き継いだブドウ畠で、 誇りに思えるワイン作りを

1980年に開業したココ・ファーム・ワイナリーは、池上峻さんの祖父・川田昇氏が始めたワインの醸造場である。中学校の教師だった川田氏は、クラスの隅で小さくなっていた知的障害者の子どもたちとできる作業を考え、1950年

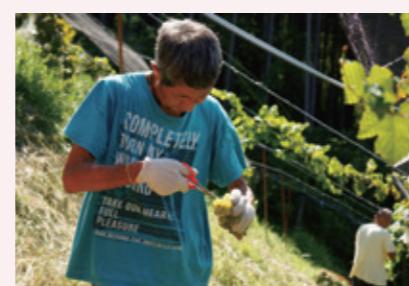


山の急斜面に広がるブドウ畠

代に山の急斜面を開墾し、ブドウづくりを始めたと言う。初めは食用のブドウを栽培していたが、カリフォルニアから招いた醸造家の指導のもとワイン作りに転向し、ワイナリーは池上さんの母、そして池上さんと三代にわたって引き継がれている。

池上さんは「継ぐつもりはなかったのですが、学資を祖父に出してもらったので」と笑うが、実際には履歴書という紙切れ一枚から進んでいく就職活動に違和感を感じたことが大きかった。卒業と同時にワイナリーのある足利に戻る。

「ここは障害者支援施設『こころみ学園』が母体であり、ワイン作りもこころみ学園の園生たちが携わっています。最初はこころみ学園の職員として園生たちと一緒に暮らし、ブドウ畠へ出て農作業をすることが仕事でした。彼らと仕事をするのは楽しかったですね。彼らには過去の憂いも未来の不安もない、ただ『今』に集



園生たちのていねいな作業がおいしいワイン作りにつながっている

中して生きているんです

園生たちから教えられることは多く、彼らが誇りに思える仕事をつくり続けることを目指した祖父の意思を引き継ごうと思うようになった。

大学時代は「あまり向学心のない学生でした」と言うが、ゼミの角田巖先生が説いた「遊び」の文化性や精神性は、園生たちとの関わりや仕事の中でよく思い出す。また仲の良いクラスで、妻はクラスメイト。大学を畠に喰えるなら、「精神的な支えとなっている友人たちを得ることができたことが一番の収穫」である。

ココ・ファーム・
ワイナリーを
紹介します

ブドウ畠に面した カフェ併設のショップも

ワイナリーの敷地内にはブドウ畠に面したショップがあり、自家製のワインが購入できるほか、こころみ学園で作っている原木栽培したけ、ワインの関連グッズなども販売。併設のカフェでは、ブドウ畠を眺めながらワインや軽食、昼食を味わうことができるほか、ワインのテイスティングやワイナリー見学も楽しめます。



ブドウ畠を見渡すカフェのテラス席



①足利マール牛などの地元の食材や、季節の食材で作る料理をワインとともに味わえる
②ショップには、自家製ワインやおつまみが並ぶ ③毎年11月に開催される収穫祭



オーク樽に詰められたワインが眠る貯蔵庫は、ブドウ畠の反対側の山の岩盤をくり抜いて作った。30度を超す夏の猛暑日でもワインの保存に適した12～15度を保つ。ワイナリー見学では貯蔵庫へも案内してくれる



ココ・ファーム・ワイナリー
④スパークリングワインや赤ワインなど、ワインの種類が豊富 ⑤自家畠の若摘みブドウを使用した飲むお酢「ベルジュ風＊葡萄酢」、原本木しただけを使った「椎茸スープカブチノ仕上げ」はおみやげに人気

⑥栃木県足利市田島町611

⑦0284-42-1194

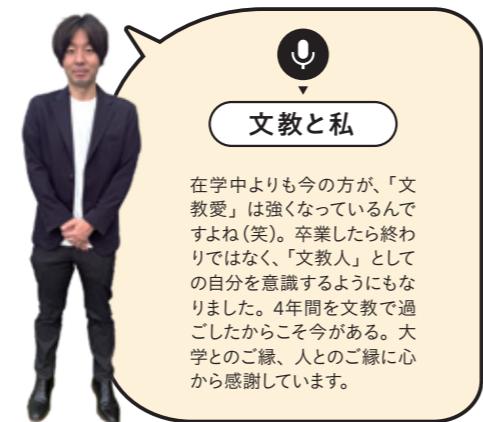
⑧ショップ10:00～18:00

カフェ11:00～16:00(土日祝日～17:00)

⑨基本無休(詳しくはHPをご覧ください)



にのみや かず や
二宮 和也さん
佐野市広報ブランド
推進課主査
文学部中国語中国文学
科 2011年卒業



文教と私

在学中よりも今の方が、「文教愛」は強くなっているんですね(笑)。卒業したら終わりではなく、「文教人」としての自分を意識するようになりました。4年間を文教で過ごしたからこそ今がある。大学とのご縁、人とのご縁に心から感謝しています。

国際学部清水麻帆ゼミと連携し、 佐野市の新ご当地グルメを開発

「佐野らーめんソフト」「耳うどんおしるこ」「ハラールメニュー(ピタパン&ポタージュ)」「梨ジエラート」。これらはすべて、文教大学国際学部の清水麻帆ゼミと佐野市観光協会の協働で開発されたご当地グルメである。2022年から始まったこのプロジェクトを最初に担当したのが、当時同協会の職員だった二宮和也さん。佐野市から出向という形で着任したばかりで、「佐野市の観光を盛り上げるために何ができるだろうか」と模索していたタイミングで声がかかった。

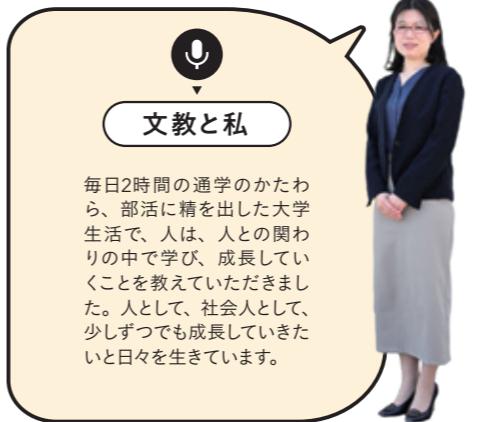
「別の案件でつながっていた文教大学の職員の

方から『文化資源の開発や地域活性化をテーマに活動している清水先生が、連携できる自治体を探している』というお話をいただきました。そこから始まったのがこのプロジェクトです」

名物の佐野ラーメンをイメージしたソフトクリーム、伝統食である耳うどんを使った甘味、地元食材を使ったハラールメニュー開発など、学生たちのアイデアには、「思いがけない視点や発想があり、いつも驚かされていました」と二宮さん。一方で、奇抜に思える提案でもマーケティングに裏打ちされた根拠に基づいてお

り、説得力があった。また学生たちの話を聞くと市内事業者さまも刺激を受け、「いいよ」のひと言で快く協力してくれる。商品開発だけではない、地域づくりとしての相乗効果が上がっていたと二宮さんは話す。

母校と共に産官学の連携を成功させたことに大きな手応えを感じつつ、卒業してからも文教大学というつながりの中にいることに「文教大学に進学してよかったです。今がそれを一番実感しています」と笑う。



なかじま さ き
中嶋 佐季さん
佐野市観光推進課主査
人間科学部臨床心理学
科 2012年卒業

地域の賑わい創出のため、 母校と佐野市を橋渡し

中嶋佐季さんは、昨年度まで佐野市観光協会に所属し、二宮さん(6ページ参照)のあとを引き継ぐ形で、清水ゼミの学生たちと商品開発に携わってきた。その中の一つが「いちごの果実酒」。佐野市では古くから酒造りも行われており、市内の蔵元と特産のイチゴを使ったお酒は、「BUNKYO校友フェスタ2024」に試飲販売という形で出展し、多くの反響を得た。

「自分たちが作った商品の反応を目の前で感じられるのは、貴重な体験でした。普段は

あまりアルコールを召し上がらないという方からも好評をいただき、学生たちも手応えを感じていました。こうした機会をくださった教職員の方たちには、感謝しかありません。また噂に聞いていた東京あだちキャンパスにも初めて訪れることができ、母校の発展を大変誇りに思いました」

今、学生たちは後任の職員と佐野市を盛り上げようと、次の課題に向かっていると言う。こうした柔軟な発想を取り入れたいと、中嶋さん



栃木に行ったら立ち寄りたい

足利市

史跡足利学校

現存する日本最古の学校

1921年に国の史跡、2015年に日本遺産に認定された日本で最も古い学校。創建については、奈良、平安、鎌倉時代と諸説があるが、明治維新後の廃校に至るまで、多くの人々の学舎となった。キリスト教宣教師のフランシスコ・ザビエルが海外に紹介したことでも知られている。



瓦屋根が立派な「学校門」



中国の明の時代の古廟の様式を模した「大成殿」は、孔子と小野篁を祀っている

⑨ 栃木県足利市昌平町2338
⑩ 0284-41-2655

⑪ 9:00~16:30(10月~3月は~16:00) ⑫ 第3水曜
⑬ 参観料一般480円、高校生240円、小中学生120円



③ライトアップされた大藤棚は
庄屋の美しさ ④パーク内の
「光の花の庭」は日本三大イル
ミネーションのひとつ ⑤名物
の「藤ソフト」



③ライトアップされた大藤棚は
庄屋の美しさ ④パーク内の
「光の花の庭」は日本三大イル
ミネーションのひとつ ⑤名物
の「藤ソフト」

足利市

あしかがフラワーパーク 栃木県天然記念物の大藤が見事

約10万平方メートルもの広大な敷地は四季折々の花々で美しく彩られ、1年を通して国内外の来園者の目を楽しませてくれる。特に春は600畳敷きの藤棚を持つ大藤や、長さ80メートルもの白藤のトンネルなど、350本以上の藤の花が咲き誇る。

校友のおすすめスポット

ASHIKAGA

SANO

佐野市

佐野厄よけ大師

関東の三大師のひとつ

944年に奈良の僧侶が開いた天台宗の名刹。厄除けや方位除けのご利益で知られ、年間を通して多くの人が参詣に訪れる。周辺には昔懐かしい併まいを残す和菓子屋や飲食店が点在。

⑨ 栃木県佐野市金井上町2233 ⑩ 0283-22-5229
⑪ 8:20~16:40 ⑫ 無休



お正月には数十万人が訪れる国内屈指の初詣スポット



① 約800品のおみやげ
が並ぶ ② 佐野らーめんなどのご当地グルメ
が充実



佐野市観光物産会館
佐野のおみやげが勢ぞろい

佐野厄よけ大師入口正面にある
佐野市最大級の品揃えを誇る
物産館。市内の観光パンフレット
を多く揃え、観光の拠点にも
なっている。

佐野市

佐野プレミアム・アウトレット

国内外の人気ブランドが約180店舗

高級ファッションブランドからスポーツ&アウトドア、生活雑貨まで揃う関東最大級の巨大アウトレットモール。アメリカンスタイルのハンバーガーショップなど、飲食店も充実。

⑨ 栃木県佐野市越名町2058
⑩ ショップ・フードコート10:00~20:00
レストラン11:00~21:00
※季節等により変動あり。年1回(2月)に定休日あり。
最新情報は公式HPを確認
⑪ 無休



③ アメリカ東海岸の街をイメージしている
④ 東側に雄大な山並みを望む

文教人

INTERVIEW



文教に通う在校生、働く教職員、みんなが輝く未来へ願いを込めて

普通の感覚を大切に デザインする

学園創立100周年を記念するロゴマークの募集事業で、スタイリッシュなロゴを作成して最優秀賞を獲得した藤掛裕美さん。「ロゴのコンセプトは?」の問い合わせに「『キラキラ』です」と即答。「キラキラした輝く未来に向かうイメージで、星をデザインして入れました。この星には『プラス』の意味もあり、学生たちが経験をプラスしていくことで、将来、星



のように輝いてほしいという願いも込めています」

本業はグラフィックデザイナー。これまで大手の広告代理店なども参加するコンペで、名だたる企業のロゴやポスターなどを受注してきた。広告の世界には美大出身者や美術を専門に学んだような人が多数いる中で、藤掛さんはむしろ“普通”であることを強みにする。「選ぶ人たちは一般の方が多いですから、自分の『普通』の感覚でつければ、クライアントの心に響くと思っています」

今の自分があるのは 文教のおかげ

藤掛さんが国際学部を卒業して最初に就職した先は、語学の教材を扱う出版社。その広報部に所属して、新刊の案内や広告づくりに関わった。当時の担当デザイナーがMacでデザインするのを見て「自分もできるかも」と、一念発起して退職。スクールでスキルを身につけ、グラフィックデザイナーとなり、現在所属する会社にデザイナーとして入社した。

藤掛 裕美さん

【現職】株式会社 ウィルコミュニケーションズ グラフィックデザイナー
【卒業年】文教大学国際学部国際学科
1995年卒業

「今思えば、国際学部を卒業していたから語学系の出版社に採用していただけたのだと思っています。今の仕事に就くきっかけを与えていただけたことに感謝しています。自分の気持ちに正直に、そして前向きに。藤掛さんはこれからも、多くの人が身近に感じるようなデザインで、共感を呼ぶ作品をつくり続けていく。」



文教大学学園創立100周年
記念ロゴマーク

わたしの文教魂 感謝

当たり前にあるものと思っていたことが、いろいろな人の手で支えられていくことに大学時代に気づくことができました。気づいたことも含めてすべてに感謝しています。

幼稚園から大学院まで擁する文教大学学園。在校生は約1万人、卒業生は14万人を超えます。さまざまな分野で活躍する「文教人」たちの「文教魂」に迫ります。

卒業生



75歳を超えてなお エネルギーに走る実業家

早稲田大学法学部を卒業後、生命保険会社の営業マンとして日本各地を駆け巡った鈴木さん。50歳で早期退職すると、52歳で株式会社グッドワンを創業し、介護業界に参入。介護サービスグループ「にじの里」の礎を築き上げた。事業が軌道にのると、次は大学時代の友人とともにオーストラリアで起業。帰国後は北海道ニセコ町でのホテ

ル開業、海外の不動産賃貸業など、国内外で幅広い事業を展開してきた。

これまでにさまざまな事業を手掛けってきた鈴木さんだが、なかでも生まれ育った溝の口を中心に展開してきた介護事業は、リハビリ型のデイサービスを中心とし、100人以上の従業員を抱える規模に成長。会長に退いた現在も、職員らに慕われている。

わたしの文教魂 和

小学校時代から変わらないのが、「みんなで一緒に生きていこう」という気持ちです。「和する」とは、楽しく生きること。人生のもっとも大切な目的だと考えています。

鈴木良一さん

【現職】株式会社J.LODGING
代表取締役会長
【卒業年】立正学園溝の口小学校
1960年卒業

「介護の従業員のみなさんは優しい方ばかりで、熱心に仕事に取り組んでくれています。私もみなさんの優しさに守られて生きています」

先祖代々暮らした溝の口。この土地に根差した温かい人々との心のつながりが、活力の源となっている。

卒業生



気づけば、そばに寄り添ってくれる そんな友情を紡いだ高校時代

多くの卒園生たちから「先生」と慕われ、今では、大人になった元園児たちとお酒を飲みに行く機会も多いという水晶佳代子さん。今年3月に付属幼稚園を定年退職し、4月からは非常勤教員として勤務。園児たちと関わる日々は変わらないが、「明るい時間に家に帰ることができるようになって幸せ」と笑う。

水晶さんは幼稚園教諭になることを目指して、文教大学付属高等学校へ進学。母親からは「女人も手に職をつけておくといいよ」と常日頃から言われていたため、付属高校から短期大学部児童科へと進もうと考えたのである。

「目標はありましたが、まったく勉強はしませんでしたね(笑)。とにかく友だちと過

水晶 佳代子さん

【現職】文教大学付属幼稚園非常勤教員
【卒業年】文教大学付属高等学校 1978年卒業
文教大学女子短期大学部 1980年卒業

ごす毎日が楽しくて、今でも当時の友だちは年に1回は必ず旅行に行く仲です」

仕事と母の介護で大変な時も病院へ行ったり、デイサービスへ送り出してくれたりしたのも高校時代の友人だった。気づけばそばに寄り添ってくれる。そんな友情を紡いだ高校時代だったのである。

学業で、課外活動で、
仕事で、趣味で…
重ねてきた努力が実りました。

文教

百花

南極のことなら何でも知る“南極博士”

お台場の船の科学館前に係留されている日本初の南極観測船「宗谷」。小出陸人さんは、保育園の時に見学した際に、船長さんから聞いた話に魅せられて以来、南極に夢中。3代目南極観測船「しらせ」の模型作りや、自

作の新聞制作にも取り組むほどです。

そのあまりの知識の広さに驚いた人から、「南極クラス」という南極観測隊参加経験者が行う出張授業を紹介してもらいました。校長先生に直談判して小学校で「南極クラス」を開催することとなりました。昨年行

われた「南極クラス」では、南極の厳しい自然環境を知るために風速60mの風を感じたり、軽くて暖かな越冬服を実際に着てみたり、南極に生きる動物たちの様子を教わるなどしました。今年も「南極クラス」を開催予定で、陸人さんも楽しみにしています。



『南極博士、

将来の夢は南極観測隊員
になることです小出 陸人さん
Rikuto Koide

文教大学付属小学校4年

掲載のポイント

小学校に「南極クラス」の
出張授業を招致

南極に関する知識の豊富さが各所で知られている“南極博士”。観測隊員が暮らす建物づくりに関わるミサワホームが開催する「南極クラス」を小学校に呼ぶことを実現させた。

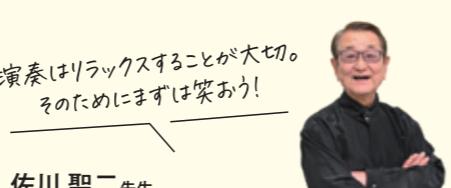
やさしく豊かな文教サウンドを目指して

越谷文化会の文教大学吹奏楽部は毎日本吹奏楽コンクール全国大会の常連校であり、大会出場30回のうち21回金賞を受賞しています。「金賞を3回取ったら1回休みとい

うルールがあったので、それがなかったらもっと記録を伸ばせたかもしれない」と笑うのは、その輝く栄光へと導いた常任指揮者である佐川聖二先生です。1989年からその任に就かれ、「佐川先生の指導を受けたい」と、文教大学に入学てくる学生も少な

くありません。

37年にわたる指導で一貫しているのは、やさしく、豊かな厚みのある音色をつくること。そのためには「奏者が楽しんで演奏することを推奨し、音楽は小手先の技術ではなく、「人の心に届けるもの」だとおっしゃいます。

2024年度スポーツ・学術優秀功績者(注)
文教大学吹奏楽部佐川 聖二先生
Seiji Sagawa文教大学吹奏楽部
常任指揮者演奏はリラックスすることが大切。
そのためにまずは笑おう!

表彰のポイント

全日本吹奏楽コンクール
21回金賞受賞

1940年から始まり、日本の吹奏楽界にとって、もっとも大きなコンクールとして定着している全日本吹奏楽コンクール。近年は、全国大会のチケットが入手困難になるほど人気がある。金賞21回の受賞は、神奈川大学吹奏楽部に次ぐ2位。

(注)スポーツ・学術優秀功績者表彰制度

学校法人文教大学学園が主催。スポーツ、文化、芸術などの広い分野で学園の名を全国的に広め、顕著な功績を挙げた個人や団体を毎年表彰する。

将来はオリンピック選手を目指したい

空希さんがレスリングを始めたのは、幼稚園の年中の時。その前年にお父さんの影響でラグビーを始め、体力をつけるためにレスリングも練習するようになったところ、めきめきと力をつけました。

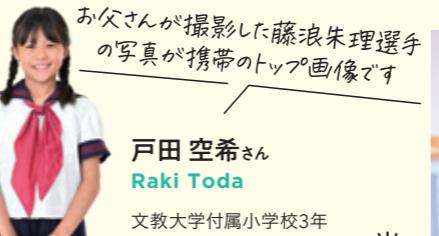
憧れの人は、パリオリンピックのレスリン

グメダリスト鏡優翔選手と藤波朱理選手。将来は、彼女たちと同じようにオリンピック選手になりたいと、日々練習に励んでいます。

レスリング競技



「自分の性格は、負けず嫌い」と話すのは、レスリングで活躍中の戸田空希さん。小学2年生の時に、大田区民スポーツ大会レスリング競技会の1~2年生の部33kg級で優勝しました。1~2年生の部までは男女別にならないので、男子を含めての優勝です。

戸田 空希さん
Raki Toda

文教大学付属小学校3年

好成績をおさめた大会
関東少年少女レスリング横須賀大会
小学1~2年の部 32kg級 2位
大田区民スポーツ大会レスリング競技
小学1~2年の部 33kg級 優勝
全国アントニオ猪木元気杯 3位
関東幼児レスリング大会 年長の部 25kg級 優勝
コンスタントにレスリングの大会で上位入賞を果たす。これまででは男女の区別がなかったが、3年生以降は女子だけで試合することになる。目下の目標は全国大会で3位以内に入ること!

2種のカヌー競技で日本代表として活躍

人乗り)の日本代表として2024年の世界選手権大会に出場を果たしました。また2025年5月に開催されたアジア選手権では、短距離の「カヌースプリント」にも日本代表として出場。2つの種目で活躍中です。

学業もある中で、ハードな練習を続ける山木さん。将来は「スポーツに関わる仕事に就きたいので、運動生理学や体の動かし方を学んでいきたい」と話し、今後も勉強とスポーツを両立させていく予定です。



カヌー競技

山木 里桜さん
Rion Yamaki

文教大学付属高等学校3年

好成績をおさめた大会
全日本カヌーマラソン
選手権大会 1位

2024年5月に京都で開催された全日本選手権は、同年9月にクロアチアで開催されたカヌーマラソン世界選手権大会の日本代表選考会を兼ねた大会。山木さんは見事1位を獲得し、代表となるための基準記録も突破。

CROSS X TALKS

学生の生きる力や個性を育てる文教大学に

文教大学の卒業生である真藤順丈さんの直木賞受賞作『宝島』が映画化、2025年9月に公開となります。それに先立ち、真藤さんと恩師である文学部の寺澤浩樹教授、宮武利江学長が鼎談し、文教大学について大いに語り合いました。

彼の小説は大学時代から面白かった

人と繋がり、何かを生み出しやすい大学

学はそんなことが起こりやすい大学だと思いま
す。

生きる力を備えた「強み」を学生に

——今後、文教大学はどんなことを学生に提供する大学になっていくのでしょうか。

宮武 本学の建学の精神は「人間愛」ですが、どんな人も、その人として尊重して温かく慈しむ、という教育をモットーとしています。お二人の関係を伺うと、それが実践されていて、だからこれほど近さみたいなものが生まれたのかなと思ひます。

寺澤 真藤くんが1・2年生の時は、彼が選択した授業の担当教員として、3・4年生の時は私のゼミ生だったので、結局、彼の在学時はずつと彼のことを見ていたことになるのかな。

真藤 卒論は、太宰(治)…じゃなくて三島(由紀夫)でしたね。

寺澤 今サラッと「卒論で三島を書いた」なん

て言ってますけど、彼は最初、卒論を「創作に

したい」って言ってきたんですよ。もちろん「ダメ

だ、卒論は研究なんだから」と答えました。彼

はそれ以前にも「小説を書いたら読んでください」って僕のところに持ってきていたんですよ。

近現代文学を専攻しようとする学生の中には、小説を書いて「読んでください」と言う学生

が時々いますが、後にも先にも、彼の作品は突

出でて良好できましたね。

真藤 なんでそんなに先生に作品を見てもらつ

たりしていたのか、理由をはっきり覚えてないん

ですけど(笑)。あと僕は映画が好きで。大学

での思い出といえば、映画の撮影したこと

でしょうか。その作品も先生のところに持っていきましたね。大学生の頃って承認欲求の塊じゃないですか。それを先生は懐深く受け止めてくれた気がします。だから先生に作品を持っていったん

でしょうね。僕が書いた小説をゼミの他の子たちに回して読ませて、その感想を添えて返してくれた時は、本当にうれしかったのを覚えています。

寺澤 やっぱり小説が面白かったから、そうしたんだよね。そこまでしたくなるような小説だったんだよ。

先生が作品を認めてくださったから、
今の自分があると思います

真藤順丈さん

Junjiyou Shindou

【現職】作家

2001年文教大学文学部
日本語日本文学科卒業
2008年『地図男』で第3回ダ・ヴィンチ文学賞大賞を受賞しデビュー。2019年『宝島』で直木賞受賞

真藤くんが大学時代に書いた
小説を単行本にしてほしいな

寺澤 浩樹 教授

Hiroki Terasawa

【現職】文教大学文学部

日本語日本文学科教授
1992年4月に文教大学に着任し、2017年4月から2025年3月まで学長補佐を務める。専門は日本近代文芸。博士(文学)

学生が本当にやりたいことを
見つけられるようにしたいですね

宮武利江学長

Toshie Miyatake

【現職】文教大学 学長

2002年4月に文教大学に着任し、2015年4月から2023年3月まで文教大学学長を務める。2025年4月より文教大学第14代学長



聞かせてください!
先生の今

恩師便り

文教大学学園で教壇に立つ先生や、今は一線を退かれた懐かしい先生に
近況と文教での思い出を語っていただきました。



歴史・思い出・資料編の3章から成る
『文教大学女子短期大学部の歩み』(A4判、約200ページ)は、短大の発展のために力を注いだ人たちの記録。表紙には、短大があつた当時の旗の台校舎と現在の湘南校舎のイラストが描かれている。

齋藤 貴美子先生 Kimiko Saito

1960年立正学園女子短期大学家政科へ入学。病院の栄養士を目指していたが、学校側の強いすすめもあり、研究室の助手に。1990年より文教大学女子短期大学部健康栄養学科教授、2005年より同学部長。2012年に名誉教授の称号が授与される。定年退職後も4年間、非常勤講師として新設した文教大学健康栄養学部の発展に尽力した。2014年退職。

短大の歴史を記念誌にまとめ、次代へつなげる

文教大学女子短期大学部の前身である立正学園女子短期大学の出身であった私は、学生から研究室、助手、教員と半世紀を文教大学学園で過ごしました。その間、約7,000名の学生に授業担当者として教え、自分自身も多くのことを学びました。まさに私の人生は学園での生活が大半を占めたと言って過言ではなく、たくさんの思い出とともに、感謝の気持ちでいっぱいです。

女子教育の先駆けとして発足した短期大学が発展していく間には、教員、職員の方たちの並ならぬ努力がありました。短大閉学を聞いた時、短大の記録を残さなければならぬと強く思ったのは、そうした人たちが教育にかけてきた思い、努力の結晶を風化せたくなかったからです。その結果

として、記念誌『文教大学女子短期大学部の歩み』を形にすることは、望外の喜びでした。過去の資料が入っているダンボールの山を一つずつ開けて資料を探し出し、関係者から聞き取りをして文章化するなど、多くの時間と労力を費やしましたが、文教大学学園の歴史を空白なくつなげることができたと思っています。

五十嵐 彰先生 Akira Igarashi

文教大学教育学部(国語専修)1996年卒業。教育専攻科、上越教育大学大学院を経て、1999年、付属中学校・高等学校の教諭となる。2024年、高等学校教頭に就任。大学時代の恩師、近藤研至先生のような自由闊達で思いやり深い教師を目指す。

明るくオープンな職員室で、日頃から教職員同士、生徒と教員が気軽に話せ、コミュニケーションが円滑にとれる空気づくりを心がけている。



自分で選んだ道をとことん進んでほしい

教師になって26年目。ずっと若手のつもりで駆け抜けきましたが、気づいたら昨年、教頭席に座っていたというのが正直な気持ちです。現在も高校の教壇に立っています。

「どう伝えるか」は、教師として一生のテーマです。生徒たちの反応を見て、いまだに「もっとこうすればよかった」と思うこ

とがあり、授業構成の難しさ、そして面白さを感じています。文教大学教育学部で受けた緊張感あふれる少人数授業が、今につながる糧になっています。

教師としてずっと大切にしているのは、生徒の話をよく聞くこと。一人ひとりが何を感じて、どう考えているのか。穏やかに耳を傾けることで、さまざまな話を引

き出したいと思っています。生徒たちは進路に、人生に、迷うことが多いでしょう。しかし、自分で考え、選択することが大切です。もちろん先生方や保護者の方のアドバイスや情報を参考にすることも重要ですが、最後は「自分で決める」。自分を信じ、選んだ道を突き進んでほしいと願っています。

EVENT情報

文教大学学園は2027年度に創立100周年を迎えます！

卒業生・在校生・保護者の皆さんにご参加・ご協力いただきたい
イベントの情報です。
たくさんの方のご参加をお待ちしております!!

BUNKYO校友フェスタ2025

日程・2025年10月18日(土) 10:30 ~ 16:15
場所・文教大学 東京あだちキャンパス

詳細は、別紙の
チラシでご確認ください!!



2025年度も校友のための交流イベント「BUNKYO校友フェスタ」を実施します

吉田兄弟コンサート-三味線だけの世界-

今年度は世界で活躍する唯一無二の津軽三味線アーティスト「吉田兄弟」のお二人をお迎えして、皆さまを「三味線だけの世界」へご案内します！三味線の第一人者であるお二方が奏で

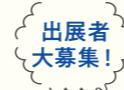


る約70分のステージにご期待ください！

※演奏開始後の途中入室・退室は原則お断りしております。

吉田兄弟

2024年、デビュー25周年を迎えた津軽三味線の第一人者、吉田兄弟。北海道登別市出身。ともに5歳より三味線を習い始め、1990年より津軽三味線奏者初代佐々木孝に師事。津軽三味線の全国大会で頭角を現し、1999年アルバム「いぶき」でメジャーデビュー。邦楽界では異例のヒットを記録し、2003年の全米デビュー以降、世界各国での演奏活動や国内外のアーティストとのコラボレーションも積極的に行っており、日本伝統芸能の枠を超えて、幅広い活躍が期待されている。



まずはお問い合わせください♪

文教大学 東京あだちキャンパス



校友によるパフォーマンスと トーク



栃木県で中学校教員として教壇に立ちながら、社会貢献活動として音楽活動をされているシンガーソングライターのMomokaさん(教育学部卒業生)が、ご自身のオリジナル曲に加え、皆さまお馴染みの曲を歌い上げます！



物産展を開催

今年度も在学生・卒業生など文教大学学園の校友が関わっているモノの紹介および販売を行います。P4でご紹介した文教大学人間科学部卒業の池上峻さんが運営に携わっている「ココ・ファーム・ワイナリー」の100%日本産葡萄ワインや、文学部卒業生の水谷英晴さんが営む「晴れ晴れ珈琲」と学園が共同開発したドリップコーヒー「BUNCO Coffee『文教ブレンド』」の販売が決定しております。

現在、出展者様を大募集中です！こちらの二次元バーコードから、ぜひご連絡ください！皆さまのご連絡をお待ちしております。

まずはお問い合わせください♪



ココ・ファーム・ワイナリー



2024年度「BUNKYO校友フェスタ2024」を開催しました

2024年10月19(土)に開催した校友フェスタには、590名の方にご参加いただきました。「個展」コーナーでは、文教大学卒業生で漫画家の須賀達郎さん、イラストレーターの唐橋充さん、谷口佳江さんの作品などを展示。「校友によるパフォーマンスとトーク」では、津軽三味線やアカペラの演奏を披露。また、落語家 春風亭小朝師匠と若手演芸家の方々をお迎えした「文教寄席-落語の世界へご案内-」では太鼓あり、水戸大神樂あり、そして落語ありの盛りだくさんの90分間で、会場は笑いの渦に包まれました。



春風亭小朝師匠による
落語



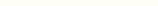
個展



文教大学学園創立100周年 記念作品募集

昨年度から2027年に迎える学園創立100周年に向けて記念作品募集を行っています。テーマは創立100周年を迎える文教大学学園での「思い出」や「これからの中園に対する想い」です。部門は「作曲部門」「イラスト部門」「写真部門」「グッズ企画部門」「エッセイ部門」の5部門！昨年度からたくさんのご応募をいただいておりますが、募集期間を9月30日まで延長することとなりました！詳しくはこちらの二次元バーコードから詳細をご確認ください。

募集要項は
こちら



文教大学学園創立100周年記念 ロゴマークが決定しました

創立100周年記念ロゴマークの作品募集では、計433点の応募がありました。厳正なる審査の結果、以下の通り受賞作品が決定し、3月には表彰式も行われました。

最優秀賞
文教大学国際学部卒業生 藤掛 裕美さん



今号の表紙絵デザインも
担当されています！

優秀賞(3点)
文教大学情報学部3年生
GUO ZIHUAさん



文教大学情報学部卒業生
宮崎 裕希さん



付属小学校6年生
長谷 恵奈さん



特別賞(7点)
文教大学人間科学部1年生
彼ノ矢 美妃さん



文教大学教育学部3年生
奥平 英恵さん



文教大学情報学部3年生
井上 朋香さん



*所属は2025年3月時点



文教大学は映画「宝島」の製作委員会に参加しています

文教大学文学部日本語日本文学科卒業生の真藤順丈さんの小説「宝島」(第160回直木賞受賞)が、東映とソニー・ピクチャーズによる共同配給のもと実写映画化されることになり、文教大学は製作委員会に参加しています。

映画は、2025年9月19日(金)より全国公開となります。舞台はくアメリカだった時代の沖縄。妻夫木聰さん、広瀬すずさん、窪田正孝さん、永山瑛太さんが演じる4人の幼馴染の半生を通して、戦後沖縄の史実に記されてこなかった真実を伝える衝撃作です！



第160回直木賞受賞作・真藤順丈
「宝島」上・下(講談社文庫)



映画「宝島」の
ティザービジュアル
©真藤順丈／講談社 ©2025「宝島」製作委員会

『あやなりーBunkyo Prideー』 Webサイトもお楽しみください

本誌に掲載できなかった
記事も読めます！

<https://www.bunkyo-ayanari.jp/>

取材時のオショットなど本誌に掲載できなかった情報も盛り込み、学園の「今」や文教人の活躍を、見やすく・わかりやすくお届けしています。
過去の『あやなりBP』もこちらからご覧いただけます！



1年を振り返る

CAMPUS REPORT

この1年も各キャンパスでさまざまなできごとがありました。園児、児童、生徒、学生たちはそれぞれの学び舎で経験を重ね大きく成長していっています。在校生が過ごした1年の足あとをたどります。



文教大学付属幼稚園

節分まめまき会 ~ ～

2月3日(月)『節分まめまき会』を実施しました。園長先生より、鬼が嫌いな『柊鯛(ひいらぎわいし)』のお話を聞いた後、玄関に飾ることにしましたが、幼稚園に鬼が入ってしまったようです…。年男役の松組(年長児)が、豆をまいて、鬼退治! でも実は、赤鬼は幼稚園のお友達と仲よくなつて一緒に遊びたかったようです。ダンスにお相撲対決、羽根付きならぬ風船付き! みんなで楽しく遊ぶことができました。



文教大学付属幼稚園

おみせやさんごっこ ～文教商店街の開店です!～

12月3日(火)、この日は文教商店街の開店の日です!
おすすめのすてきな品物がたくさん並んでいます。お買い物を楽しんでください!
ご家庭から提供していただいた廃材が、なんということでしょう!
ワクワクする品物に変身しています。これまでいろいろな品物を作っていました。
いよいよ開店です!

文教大学付属小学校

花まつり

4月8日(火)、お釈迦様の誕生を祝う花まつりが行われました。校長先生からお釈迦様がお生まれになった時の話や、教えについての話を聞きました。その後は、一人ひとりがお釈迦様に甘茶をかける「灌仏」をして、お祝いをしました。お釈迦様の「天上天下 唯我独尊」の教えのもと、自分というかけがえのない存在について、あらためて深く考える良い機会になったと思います。



文教大学付属小学校

香港の小学生との交流

4月14日(月)、香港の順徳聯誼総会何日東小学から、児童約80名と先生方が本校を訪問され、国際交流のひとときを楽しみました。挨拶のあと、それぞれが歌やダンスなどのパフォーマンスを披露し合いました。交流の最後には記念のプレゼント交換を行い、その後は第二運動場に出て、一輪車や鉄棒、竹馬などを使って一緒に遊びました。本校の児童も英語や中国語を使って積極的に話しかける姿が見られ、国を超えた心のつながりを感じる場面がたくさん見られました。このような国際交流を通して、子どもたちが世界に目を向け、多様性を尊重する心を育んでいくきっかけになればと願っています。



文教大学付属中学校・高等学校

探究祭

2025年1月25日(土)、探究祭が行われました。探究祭とは、独自の取り組みである「クリエイティブチャレンジ(CC)」の成果発表の場です。クリエイティブチャレンジでは、生徒たちは大学の学部系統に沿ったグループに分かれ、個人もしくは活動班で探究テーマを設定し、1年間かけてその内容を探究してきました。自分が興味を持っている分野について、課題を発見するところから始まり、今そしてこれから自分たちに何ができるかを真剣に考えて取り組んできました。「こんなものがあったらいいな」を実際に形にするグループや、現代社会が抱える問題を解決するために活動をしている団体に話を聞きに行ったグループなど、その取り組みは多種多様でした。



文教大学

不要なアクリル板を再利用した サステナブルな大学グッズを制作

2024年度卒業式にて、卒業生に対し、コロナ禍に学内で使用していた不要なアクリルパーテーションをアップサイクルした「アクリルしおり」を贈りました。学生生活の多くを、コロナ禍による制約の中で過ごした2024年度卒業生。当時を象徴する素材をアップサイクルすることで、コロナ禍の学生生活を前向きな思い出として刻んでほしいとの願いを込めています。学生には、しおりに込める想いや未来へのメッセージを記したメッセージカードも合わせてお渡しました。グッズ制作には、本学も登録するあだちSDGsパートナーの登録企業にご協力いただきました。この取り組みが卒業生にとって心に残る思い出となり、SDGsへの関心をさらに深めるきっかけとなることを願っています。



文教大学付属中学校・高等学校

合唱コンクール

2025年2月13日(木)、大田区民ホール・アリコにて、中学・高校それぞれの合唱コンクールが開催されました。中学の部では、中学1年生から3年生までの12クラスが、高校の部では、高校1・2年生の15クラスが、それぞれ合唱を披露しました。クラスごとに一致団結して練習に励み、本番ではその成果を存分に発揮し、どのクラスもすばらしいパフォーマンスを会場に響かせていました。今のクラスで参加する行事は今回が最後となりましたが、これからもさまざまな学校行事を通して成長し、多くの思い出を心に刻んでいってほしいと思います。



文教大学

藍蓼祭、聳塔祭、 華又祭を開催

2024年10月26日(土)～27日(日)に「第40回聳塔祭」(湘南キャンパス)、2024年11月2日(土)～4日(月・振休)に「第57回藍蓼祭」(越谷キャンパス)、2024年11月9日(土)～10日(日)に「第4回華又祭」(東京あだちキャンパス)が開催されました。各キャンパスとも、トークショーやステージ発表などさまざまな企画を実施し、大いに盛り上がりました。2025年度は以下の日程で実施いたしますので、ぜひご来場ください!

●越谷キャンパス「第58回藍蓼祭」

2025年11月1日(土)～11月3日(月・祝)

●湘南キャンパス「第41回聳塔祭」

2025年10月25日(土)～10月26日(日)

●東京あだちキャンパス「第5回華又祭」

2025年11月8日(土)～11月9日(日)



幼稚園

入園説明会

9/6(土)
10:00～11:30



小学校

学校説明会

9/6(土)
説明会 10:05～
個別相談会 11:40～



中学校・高等学校

学校説明会

9/6(土)
中学校 14:00～15:00
高等学校 10:30～11:30



大学

オープンキャンパス

8/30(土)
湘南キャンパス
11:00～15:00(予定)
9/7(日)
東京あだちキャンパス
11:00～15:00(予定)
9/14(日)
越谷キャンパス
11:00～15:00(予定)



校友会の輪

文教大学学園

2012年に発足した
「文教大学学園校友会」は
各校友団体の連合体です。
校友同士の輪(和)
の形成を目指しています。

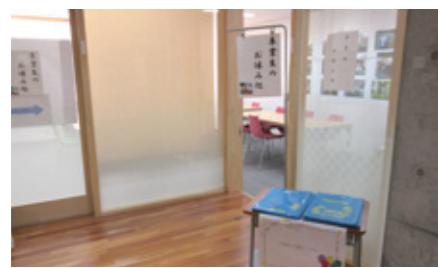
文教大学付属高等学校 三荳会

会員数: 25,575名
問合せ先: [三荳会事務局] (木曜日開室)
〒142-0064 東京都品川区旗の台3-2-17
TEL 03-3784-0524 FAX 03-3784-0524
Mail sanyokai@hatanodai.bunkyo.ac.jp

卒業生・教職員・在校生の3本の柱で学校を支え、母校の発展に寄与することを目的とし、会報の発行・会員の親睦・学校行事の協力をしています。卒業時には入会記念品、創立周年時にはオリジナルの記念品等を寄贈しております。今年は旗の台校舎で



2025年三荳会総会集合写真



白荳祭卒業生お休み処

EVENT
白荳祭
日時: 2025年9月20日(土)、21日(日)
場所: 旗の台キャンパス 卒業生お休み処
同窓会
日時: 2025年10月17日(金) (創立記念日)
場所: ディズニーアンバサダーホテル

文教大学女子短期大学部 芙蓉会

会員数: 30,154名
問合せ先: [芙蓉会事務局] (火曜日・木曜日開室)
〒253-8550 神奈川県茅ヶ崎市行谷1100
TEL 0467-52-4075 FAX 0467-52-4075
Mail fyou@bunkyo.ac.jp
HP <https://www.bunkyo.ac.jp/etc/fyou/>

芙蓉会は旗の台キャンパスと湘南キャンパスの短期大学部卒業生を会員に持ち、閉学後も会報などを通じて会員の絆を大切にしています。昨年の通常総会・懇親会は顧問の松村康弘先生と斎藤貴美子先生をお迎えして、横浜桜木町ワシントンホテルで開催しました。秋にはBUNKYO校友フェスタに参加。芙蓉会ブースには大勢の会員が来て、とても賑やかでした。翌週には、文教大学ホームカミングデーで文教ファミリーとの交流。同日開催の聳塔祭では在校生と触れ合い、楽しく充実した一日となりました。本年も、BUNKYO



総会集合写真



校友フェスタや聳塔祭に参加します。皆さまのお越しをお待ちしております。



BUNKYO校友フェスタ2024の芙蓉会ブース集合写真

文教大学付属小学校 同窓会

会員数: 2,605名
問合せ先: 〒145-0065 東京都大田区東雪谷2-3-12
Mail bersc_2008@yahoo.co.jp
HP www.ikd2008.com



同窓会フェスティバルの集合写真



2008年に発足して17年が経ちました。昨年は8年ぶりに同窓会フェスティバルが開催され、多くの同窓生に参加していただき、楽しい時間を過ごすことができました。その他の活動としては、在校生に向けた各界で活躍している卒業生による講演、バザーの参加などを行っています。

文教大学付属(溝の口)小学校校友会

会員数: 400名
問合せ先: 〒213-0002 神奈川県川崎市高津区二子1-11-23 (飯島悠光)
TEL 090-4605-5320 (代表幹事/第17回生・矢内義道)
Mail kouyukai@yannet.biz
HP <http://www.yannet.biz/bunkyo-kouyukai/>
<https://www.facebook.com/bunkyo.mizonokuchi.kouyukai>

文教大学付属(溝の口)小学校は、昭和26(1951)年に溝の口(現在の溝の口緑地・高津図書館付近)に開校し、昭和60(1985)年まで24年間、1,918名の卒業生を輩出しました。日蓮宗・宗隆寺の檀家や商店街、地元住民の子弟が多く通い、少数精銳で先生と生徒の距離が無い学校でした。閉校から40年が経ちましたが、現在も卒業生有志が集って校友会活動を続けています。



第5回生70歳のクラス会(2018.5.12銀座・木村家)にて。「シルバー世代に入っても頑張ります」



ホームページ▶

Facebook▶



第5回生75歳のクラス会(2023.5.31二子玉川エクセル東急)にて。「後期高齢者になっても元気です」

文教森の会 旧文教大学付属幼稚園(越谷)同窓会

会員数: 40名
問合せ先: [文教森の会事務局 林文子]
〒332-0035 埼玉県川口市西青木2-4-41-510
TEL 048-252-1771 / 090-6015-8282
Mail fmk235hys@gmail.com

「文教森の会」を立ち上げて11年目の5月、南荻島みずべのアトリエを拠点に、参加者40名が美しい元新川土手を散策し、生き物に関する問題を解いて画像を発表。摘んだヨモギで草餅作り、土手のビワの葉でビワ酒作りを楽しみました。新たな会員(越谷市民)が加わった会場は笑いが飛び交い、大盛況でした。今年度2回目のイベントは、11月半ばを予定しております。ぜひ、ご参加ください。



画像にした回答を班ごとに発表

文教大学学園退職職員の会

会員数: 35名
Mail alumni@stf.bunkyo.ac.jp

新型コロナウイルス感染症に伴い、休会していましたが、令和6年9月に再開しました。毎年秋に総会、懇親会を開きます。



文教大学父母と教職員の会

会員数: 8,713名(正会員/在学生 大学院91名含む)、345名(教職員会員)、100名(賛助会員)
問合せ先:
[父母教越谷事務局]
〒343-8511 埼玉県越谷市南荻島3337 TEL 048-974-8811 内線1051
[父母教湘南事務局]
〒253-8550 神奈川県茅ヶ崎市行谷1100 TEL 0467-53-2111 内線3640
[父母教東京あだち事務室]
〒121-8577 東京都足立区花畠5-6-1 TEL 03-5686-8577 内線6852
Mail fubokyo@stf.bunkyo.ac.jp
HP <https://www.bunkyo.ac.jp/etc/fubokyo/>

本会は、設立49周年を迎えました。ご父母、保証人と教職員が緊密に連絡・協力して、文教大学の発展・向上に寄与することを目的とした会です。全国45支部での総会・研修会、年2回の会報発行、学生の諸活動や生活および就職対策支援、100円朝食の共催、父母のための一日大学、親と子の進路問題研修会といったイベント開催等、さまざまな活動を行っています。



創立40周年記念事業として作成した父母と教職員の会のロゴです。文教の頭文字「b」をモチーフに、学生と父母と教職員が寄り添い、「人間愛」の理念が伝わるやさしい色合いになっています。

文教大学ビジネス同友会

会員数: 280名
問合せ先: 〒142-0064 東京都品川区旗の台3-2-17
TEL 04-7145-5036 FAX 04-7145-5036
Mail bunkyo.bd@gmail.com
HP <http://bunkyobiz.net/>

ビジネス同友会は新入社員から60歳超のベテランまで短大を含む全文教OBが会員です。縦横に繋がり、親睦を深め、相互の交流から新しいビジネスが生まれ、転職のチャンスを掴めるのが同友会です。そして、この4月に大きな節目を迎えました。創立から引っ張っていただいた竹内会長が勇退し、新体制に移行しました。今後は、

- ①ビジネスを中心に据えた活動
- ②大学との関係正常化
- ③緩やかで自由な集まり

の3つを掲げて活動します。

EVENT

臨時総会を9月19日(金)19時より行います。
詳細はHPをご覧ください。

